

キャリア発達段階表(中学部)

職業的(進路)発達に関わる諸能力	中学部段階において育てたい力	内容	評価の観点	
人間関係形成能力				
	1	達成感に基づく肯定的な自己理解、相手の気持ちや考え、立場の理解	(1)「わかった」「できた」という体験の中で自己有用感を得る。 (2)自分と相手の違いに気づき、異性や異年齢の人たちと共に活動する。	①様々な活動を受け入れ、取り組むことができる。 ②活動を振り返り、できたことに自信を持つ。
				①身近な人の考えや個性を知る。 ②相手の気持ちや立場を考えることができる。 ③自分の言動の受け取られ方を考える。
	2	集団における役割の理解と協力	(1) 集団活動における目的を共有し、役割を理解して協力して成し遂げる。	①集団には様々な立場の人がいることに気付く。 ②集団における自分の役割に気付く。 ③他者と協力して活動に取り組むことができる。
	3	社会生活に必要な意思の表現	(1) 集団の中で、自分の思いや意見を適切に表現する。	①自分の思いや意見を持つ ②自分の思いや意見を言うことができる。 ③友達や教師など身近な人に自分の思いや意見を伝えることができる。
	4	状況に応じた言葉遣いや振る舞い	(1) 相手の立場を考えて話すことができる。	①丁寧に挨拶することができる。 ②言葉遣いに気をつけて話すことができる。
			(2) 制服の着用について意識することが出来る。	①制服の汚れや乱れに気付く。 ②正しい制服の着方を心がけることができる。
情報活用能力				
	1	進路をはじめ様々な情報の収集と活用	(1)進路や学校生活における課題や目的に応じて情報収集したり、活用したりする。	① 資料から進路に関する情報を収集する。 ② 課題や目的に応じて、資料をもとにまとめることができる。 ③ まとめたことを発表することができる。
	2	視覚と代替感覚による情報の収集と学習や生活への活用	(1)自己の障害を理解し、視覚や代替感覚による情報収集や生活への活用ができる。	① 自己の障害や生活上の課題に気づく。 ② 視覚や代替感覚による情報収集について知る。 ③ 課題や目的に応じて、情報収集の方法を選択することができる。 ④ 日常生活の中で活用することができる。
	3	社会の仕組み、ルールを理解	(1)地域生活における障害者への配慮や環境について理解し、利用することができる。	① バリアフリー、点字ブロック等地域生活における障害者のための配慮や環境について知る。 ② 自分が利用できるものを選択する。 ③ 実際の場面で活用することができる。
	4	消費生活に関する基本的な事柄の理解と計画的な消費	(1)消費生活を送る上で必要な事柄や支払う金銭について理解する。	① 消費生活における支出の項目について知る。 ② 収入と支出の関係について知る。 ③ 計画的な消費の方法について考える。
	5	様々な職業があることや働くことに関する体験的理解	(1)職業体験活動を通して、様々な職種について理解する。	① 資料から、様々な職種について知る。 ② 体験活動を通して仕事の内容や働く人々について知る。 ③ 体験し、まとめたことを発表することができる。
	6	学校生活、家庭生活において自分が果たすべき役割の理解と実行	(1)学校生活、家庭生活における自分の役割を理解し、主体的に行動することができる。	① 学校生活や家庭生活における自分の役割について知る。 ② 与えられた役割や仕事を確実に遂行することができる。 ③ 主体的に行動することができる。

将来設計能力				
	1	職業生活に必要な習慣形成	(1) 家庭・学校・社会生活における様々な活動や役割を理解し、社会生活に向けた基礎的知識技能を身に付ける。	① 家庭・学校・社会生活に向けた基本的な知識・技能を身に付ける。 ② 自分の健康について正しく理解し、自己の健康管理ができる。 ③ 安全のための決まりをしり、体験的に学ぶ。 ④ 時計などを活用し、家庭や学校生活の中で開始時間や終了時間を守って活動できる。 ⑤ 自ら習慣的に運動し、体力を付ける。
	2	将来の夢や職業への憧れ	(1) 将来の夢や職業を思い描き、自分にふさわしい職業や仕事への関心・意欲を高める。	① 職業調べをして、様々な職業の社会的役割や意義を理解する。 ② なりたい職業や進路を思いえがく。
	3	様々な学習活動への自発的な取組	(1) 活動の意義を理解し、期待感や興味・関心をもって活動する。	① 自分が担当する役割を理解し、その活動が人の役に立つことが分かる。 ② 担当した活動をやり遂げることで、達成感や充実感を得る。 ③ 自分の趣味や好きな活動をもつ。
	4	目標を実現するための主体的な進路計画	(1) 将来の目標を考え、実現するための計画を立てる。	① 高等部以降の進路を意識し目標をもつ。 ② 進路選択までの流れが分かり、自分の進路を考える。 ③ 進路希望に基づいた目標の達成に向けて計画をたてる。
意思決定能力				
	1	目標の設定と達成への取組	(1) 自分の決めた目標に向けて自分で課題を解決しようとする意欲をもつ。	① 様々な活動において具体的な目標を立てて取り組むことができる。 ② 学年毎の目標を立てて取り組むことができる。
	2	自己の個性や興味・関心に基づいたよりよい選択	(1) 自己の個性や興味・関心等に基づいてよりよい選択をしようとする。	① 個別の活動において自己の興味、関心に基づき、選択・決定することができる。 ② 集団活動の中で自分の係や役割を考え、選択・決定することができる。
		進路先に関する主体的な選択	(2) 見学や体験を基に、進路先を主体的に選択する。	① 校外学習や就職体験、高等部体験などをもとに進路先を主体的に選択することができる。
	3	活動場面での振り返りとそれを次に生かそうとする努力	(1) 活動場面での振り返りを基に次の活動に生かそうとする。	① 自己評価表をもとに活動を振り返ることができる。 ② 振り返りから課題をみつけ、解決の方法を考えることができる。 ③ 解決方法が見つからない場合は、教師や保護者に相談することができる。
	4	課題解決のための選択肢の活用	(1) 戸惑いや葛藤などに対して、様々な選択肢の中からよりよい選択をする。	① 問題解決のための様々な選択肢の意味を理解することができる。 ② 自分の困難な状況を正確に把握する。 ③ 解決方法を選択することができる。